



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東
 コード番号 6383 URL <https://www.daifuku.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下代 博
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 齊藤 司 (TEL) 06-6472-1261
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	208,734	△0.9	17,286	△25.2	17,619	△25.8	13,168	△39.6
2019年3月期第2四半期	210,713	14.4	23,114	38.3	23,757	36.2	21,799	78.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 10,565百万円(△44.6%) 2019年3月期第2四半期 19,066百万円(37.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	104.65	—
2019年3月期第2四半期	173.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	392,458	225,975	56.5
2019年3月期	409,982	222,885	53.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 221,774百万円 2019年3月期 218,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	60.00	90.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	45.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	△2.1	39,000	△28.7	39,700	△28.9	28,500	△28.0	226.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	126,610,077株	2019年3月期	126,610,077株
2020年3月期2Q	743,877株	2019年3月期	795,986株
2020年3月期2Q	125,842,949株	2019年3月期2Q	125,787,681株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT=Board Benefit Trust)およびダイフク従業員持株会専用信託が保有する自己株式を含んでおります。株式給付信託(BBT=Board Benefit Trust)が保有する自己株式数は、2020年3月期第2四半期末71,100株、2019年3月期末75,300株であります。また、ダイフク従業員持株会専用信託が保有する自己株式数は、2020年3月期第2四半期末100,800株、2019年3月期末149,400株であります。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで11月8日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済は、米国経済は底堅く推移したものの、米中貿易摩擦の激化・中国景気の減速等の影響を受けて、先行き不透明感が増す状況が続きました。

当社グループの主力事業であるマテリアルハンドリングシステムは、グローバル規模でのヒト・モノの動きの増加、流通形態の変革やIoTなどの技術革新による産業構造の変化、人手不足による自動化投資など、幅広い産業界のニーズに支えられ、さらなる成長が見込まれています。

このような経済・事業環境のもと、当社グループの受注は持続的拡大基調を維持しているものの、当第2四半期連結累計期間は、半導体・液晶業界が設備投資に慎重な姿勢を見せている影響を受けました。一方で、医薬卸・eコマース向けシステムなどは堅調に推移しています。

売上は、豊富な受注残をベースに進捗し、ほぼ前年同期並みとなりました。

この結果、受注高は2,143億25百万円（前年同期比20.6%減）、売上高は2,087億34百万円（同0.9%減）となりました。

営業利益は、半導体・液晶業界を取り巻く事業環境が厳しくなる中で受注した案件が増えたこと、液晶パネル工場の大型工事案件での追加コスト等の影響を受けました。

この結果、営業利益は172億86百万円（同25.2%減）、経常利益は176億19百万円（同25.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は131億68百万円（同39.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の減少は、主に前第1四半期連結会計期間に計上した関係会社株式の売却益（69億48百万円＝連結簿価との差額）がなくなっていることによるものです。

なお、当第2四半期連結累計期間の当社グループの平均為替レートは、米ドルで109.98円（前年同期108.52円）、中国元で16.23円（同17.01円）、韓国ウォンで0.0960円（同0.1004円）となりました。これにより、受注高は前年同期比で約30億円減少、売上高は約16億円減少しました。営業利益への影響は軽微でした。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

第1四半期連結会計期間より、これまで報告セグメントとして記載していた「株式会社ダイフクプラスモア」は、重要性が低下したことに伴い、「その他」に含めることとしました。報告セグメントに関する詳細は、後記（セグメント情報等）をご覧ください。

①株式会社ダイフク

受注は、国内の一般製造業および流通業向け大型システムは底堅く、自動車生産ライン向けシステムも、サービス・小規模の改造案件が堅調に推移しましたが、東アジア・北米の半導体工場向け輸出案件が伸び悩んだ影響を受けました。

売上は、豊富な受注残をベースに堅調に推移しました。

利益面では、国内の一般製造業および流通業界向けシステムは収益性が一層改善したものの、半導体・液晶業界を取り巻く事業環境が厳しくなる中で受注した案件が増えたこと、液晶パネル工場の大型工事案件での追加コスト等の影響を受けました。

この結果、受注高は1,043億27百万円（前年同期比14.2%減）、売上高は937億80百万円（同0.9%増）、セグメント利益は74億14百万円（同59.2%減）となりました。セグメント利益の減少は、主に前第1四半期連結会計期間に計上した関係会社株式の売却益（80億30百万円＝取得原価との差額）がなくなっていることによるものです。

②コンテックグループ

日本市場では、企業の設備投資が低調に推移した影響を受け計測制御用ボードの売上が減少しましたが、IoT市場向け製品「CONPROSYS」の売上は増加しました。

米国市場では、医療機器関連向けおよび空港セキュリティ関連向けの産業用コンピュータの販売が好調に推移しました。

利益面では、投資有価証券の売却による特別利益を計上しました。

この結果、受注高は84億33百万円（前年同期比0.3%減）、売上高は75億32百万円（同3.8%減）、セグメント利益は7億5百万円（同23.4%増）となりました。

③Daifuku North America Holding Company (DNAHC) グループ

受注は、空港向けシステムの新規案件をはじめ、一般製造業および流通業、半導体、自動車生産ライン向けで受注時期の遅れなどによる影響を受けました。

売上は、一般製造業および流通業が進捗の遅れにより減少しましたが、半導体、自動車、空港向けは堅調に推移しました。

利益面は、増収効果などにより改善しました。

この結果、受注高は421億21百万円(前年同期比33.4%減)、売上高は463億38百万円(同13.1%増)、セグメント利益は26億94百万円(同53.9%増)となりました。

④Clean Factomation, Inc. (CFI)

Clean Factomation, Inc. は、韓国の当社100%子会社で、主に同国の半導体メーカーにクリーンルーム内搬送システムを提供しています。当社グループ内の日本・中国・台湾の工場と連携して、同システムのグローバル生産の一翼を担うとともに、付帯する関連装置の改良・改善に関する開発にも取り組んでいます。

メモリー半導体需要の回復が遅れていることにより受注は減少しましたが、売上・利益については、豊富な受注残をベースに順調に推移しました。

この結果、受注高は142億13百万円(前年同期比38.3%減)、売上高は162億70百万円(同3.8%増)、セグメント利益は19億46百万円(同24.4%増)となりました。

⑤その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社53社のうち、上記②③④以外の国内外の子会社です。各社とも、マテリアルハンドリングシステム・機器、洗車機の製造や販売を行っています。

国内子会社：

株式会社ダイフクプラスモアは、サービスステーション向けで石油元売業界の再編に伴う洗車機需要があり、カーディーラー向け、トラック・バス用の大型洗車機と併せて、販売台数は堅調に推移しています。

海外子会社：

中国、台湾、韓国、タイなどに生産拠点があり、グローバルな最適地生産・調達体制の一翼を担っています。

中国では、液晶業界全体の設備投資は減少しているものの有機ELパネル工場の建設計画は活発で、食品、医薬、自動車部品、eコマース向けのマテリアルハンドリングシステムも需要が拡大しています。自動車関連では、日系自動車メーカーを中心に顧客密着体制を構築し、受注は堅調に推移しています。

台湾では、半導体工場向けシステムの受注が減少しましたが、売上は受注残をベースに順調に推移しています。

韓国では、経済全体の厳しさが影響しており、自動車生産ライン向けシステムの受注・売上が減少しましたが、サービス案件の受注増を目指して積極的な提案活動を展開しています。

アセアン諸国やインドでは、食品・日用雑貨・医薬品などの製造業での設備投資は活発で、特に冷凍食品業界の需要が急速に伸びています。各地に展開する海外子会社でこうした需要を取り込むとともに、現地生産を強化しています。従来のタイに加え、インドでもM&Aによって生産拠点を確保しました。

また、8月には有力な製造拠点として各国の企業が進出し、自動化ニーズが高まりつつあるベトナムに「Daifuku Intralogistics Vietnam Co., Ltd.」を設立しました。

ニュージーランドのBCS Group Limitedは、オセアニア以外での事業展開の強化にも積極的に取り組んでいます。

当連結累計期間は主に東アジアの半導体・液晶業界の事業環境の変化の影響を受け、受注高は452億29百万円(前年同期比15.4%減)、売上高は454億44百万円(同4.9%減)、セグメント利益は8億35百万円(同55.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部について

当第2四半期連結会計期間末における総資産は3,924億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ175億24百万円減少いたしました。流動資産の222億9百万円の減少につきましては、現金及び預金が141億42百万円、受取手形・完成工事未収入金等が108億3百万円減少したことが主な要因であります。一方、固定資産の46億84百万円の増加につきましては、建設仮勘定等の増加により、有形固定資産が57億21百万円増加したことが主な要因であります。

②負債の部について

当第2四半期連結会計期間末における負債は1,664億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ206億14百万円減少いたしました。流動負債の215億66百万円の減少につきましては、仕入債務の支払いにより支払手形・工事未払金等が30億92百万円、借入の返済により短期借入金が44億43百万円、法人税等の支払いにより未払法人税等が98億15百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

一方、固定負債の9億51百万円の増加につきましては、主としてその他の固定負債が16億44百万円増加したことが要因であります。

③純資産の部について

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,259億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億90百万円増加いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が54億57百万円増加したものの、為替換算調整勘定が23億67百万円減少したことが主な要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ209億12百万円減少し、767億60百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減要因は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ4億49百万円減少し、60億20百万円の収入超過となりました。これは、仕入債務の減少額が64億94百万円、法人税等の支払額が121億94百万円あったものの、売上債権の減少額が83億80百万円、税金等調整前四半期純利益が183億96百万円あったことが主な要因であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ173億17百万円減少し、64億28百万円の支出超過となりました。これは生産設備の維持更新を中心とした固定資産の取得による支出が48億60百万円あったことが主な要因であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ90億61百万円減少し、123億45百万円の支出超過となりました。これは主として海外子会社における短期借入金の返済による支出が41億11百万円、配当金の支払額が75億51百万円あったことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年8月8日に公表した、2020年3月期通期連結累計期間の業績予想を以下のように変更いたしました。

当社グループの売上高の約40%を占めるエレクトロニクス業界向けシステムにおいて、半導体・液晶業界の慎重な設備投資姿勢により、新工場の受注や計画の進捗が遅れ気味に推移していることなどの影響が見込まれるためです。

上記状況を踏まえ、2020年3月期の期末配当予想を15円減配して45円とすることといたします。詳細は、本日別途開示しております「剰余金の配当（中間配当金）の決定、通期配当予想の修正のお知らせ」をご覧ください。

2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	460,000	46,000	46,500	33,500	266.24円
今回発表予想（B）	450,000	39,000	39,700	28,500	226.47円
増減額（B－A）	△10,000	△7,000	△6,800	△5,000	－
増減率（％）	△2.2	△15.2	△14.6	△14.9	－
（ご参考）前期連結実績 （2019年3月期通期連結期間）	459,486	54,681	55,842	39,567	314.54円

（注）上記予想は、当社が本業績予想および配当予想修正の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因で予想値と異なる結果となる場合があります。

なお、受注高は、2019年8月8日公表の通期予想値の510,000百万円に対し500,000百万円（2.0%減）を見込んでいます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,916	76,773
受取手形・完成工事未収入金等	191,867	181,064
商品及び製品	5,497	6,038
未成工事支出金等	14,074	14,739
原材料及び貯蔵品	14,634	16,087
その他	9,475	9,558
貸倒引当金	△226	△231
流動資産合計	326,239	304,030
固定資産		
有形固定資産	37,020	42,741
無形固定資産		
のれん	7,561	6,922
その他	4,898	4,805
無形固定資産合計	12,460	11,728
投資その他の資産		
その他	34,460	34,149
貸倒引当金	△198	△191
投資その他の資産合計	34,262	33,957
固定資産合計	83,742	88,427
資産合計	409,982	392,458
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	47,883	44,790
電子記録債務	23,915	19,316
短期借入金	19,431	14,988
未払法人税等	13,388	3,573
未成工事受入金等	29,245	31,313
工事損失引当金	317	589
その他	21,779	19,822
流動負債合計	155,961	134,395
固定負債		
長期借入金	20,569	20,189
退職給付に係る負債	7,459	7,147
その他	3,105	4,750
固定負債合計	31,135	32,087
負債合計	187,097	166,483

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	21,518	21,518
利益剰余金	162,722	168,179
自己株式	△1,449	△1,177
株主資本合計	214,656	220,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,554	3,956
繰延ヘッジ損益	△20	43
為替換算調整勘定	2,003	△363
退職給付に係る調整累計額	△2,505	△2,248
その他の包括利益累計額合計	4,032	1,388
非支配株主持分	4,195	4,200
純資産合計	222,885	225,975
負債純資産合計	409,982	392,458

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	210,713	208,734
売上原価	164,557	169,926
売上総利益	46,156	38,808
販売費及び一般管理費		
販売費	9,333	8,559
一般管理費	13,708	12,961
販売費及び一般管理費合計	23,041	21,521
営業利益	23,114	17,286
営業外収益		
受取利息	244	302
受取配当金	231	247
受取賃貸料	121	108
その他	314	252
営業外収益合計	911	910
営業外費用		
支払利息	149	401
為替差損	76	69
その他	42	107
営業外費用合計	268	577
経常利益	23,757	17,619
特別利益		
投資有価証券売却益	31	777
関係会社株式売却益	6,948	—
その他	13	9
特別利益合計	6,994	786
特別損失		
固定資産除売却損	160	9
その他	2	—
特別損失合計	162	9
税金等調整前四半期純利益	30,589	18,396
法人税、住民税及び事業税	9,410	3,177
法人税等調整額	△842	1,769
法人税等合計	8,568	4,946
四半期純利益	22,021	13,450
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,799	13,168
非支配株主に帰属する四半期純利益	221	281

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	614	△781
繰延ヘッジ損益	△130	64
為替換算調整勘定	△2,843	△2,408
退職給付に係る調整額	472	248
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,069	△7
その他の包括利益合計	△2,955	△2,884
四半期包括利益	19,066	10,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,785	10,524
非支配株主に係る四半期包括利益	280	40

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,589	18,396
減価償却費	2,219	2,678
受取利息及び受取配当金	△476	△549
支払利息	149	401
投資有価証券売却損益(△は益)	△31	△777
関係会社株式売却損益(△は益)	△6,948	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,619	8,380
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,792	△3,265
仕入債務の増減額(△は減少)	△960	△6,494
未成工事受入金の増減額(△は減少)	2,964	774
その他	2,143	△1,728
小計	15,238	17,813
利息及び配当金の受取額	477	547
利息の支払額	△146	△394
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,336	△12,194
その他の収入	235	248
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,469	6,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△0
固定資産の取得による支出	△2,450	△4,860
固定資産の売却による収入	56	23
投資有価証券の売却による収入	59	1,154
投資有価証券の取得による支出	△14	△339
関係会社株式の売却による収入	13,223	—
関係会社株式の取得による支出	—	△2,411
その他	18	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,889	△6,428
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,753	△4,111
長期借入金の返済による支出	△252	△390
自己株式の取得による支出	△5	△3
配当金の支払額	△5,653	△7,551
その他	△127	△288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,284	△12,345
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,551	△1,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,522	△14,142
現金及び現金同等物の期首残高	85,150	90,903
現金及び現金同等物の四半期末残高	97,673	76,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、IFRS適用子会社では、IFRS第16号「リース」を適用しています。

当会計基準の適用により、リースの借手は、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識すること等を求められております。

当会計基準の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を採用する北米子会社において、ASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を、第1四半期連結会計期間より適用しております。

当会計基準の適用により、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

当会計基準の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用し、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	92,970	7,828	40,968	15,677	157,444	47,807	205,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,906	5,518	484	2,253	31,163	8,051	39,214
計	115,876	13,347	41,453	17,930	188,608	55,858	244,467
セグメント利益	18,186	571	1,750	1,564	22,072	1,865	23,938

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	188,608
「その他」の区分の売上高	55,858
セグメント間取引消去	△39,214
その他の連結上の調整額	5,461
四半期連結財務諸表の売上高	210,713

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	22,072
「その他」の区分の利益	1,865
関係会社からの配当金の消去	△231
関係会社株式売却益の調整額	△797
その他の連結上の調整額	△1,109
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	21,799

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	93,780	7,532	46,338	16,270	163,921	45,444	209,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,555	4,535	382	2,458	25,932	6,664	32,596
計	112,335	12,067	46,720	18,729	189,853	52,109	241,963
セグメント利益	7,414	705	2,694	1,946	12,760	835	13,596

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社であります。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	189,853
「その他」の区分の売上高	52,109
セグメント間取引消去	△32,596
その他の連結上の調整額	△631
四半期連結財務諸表の売上高	208,734

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12,760
「その他」の区分の利益	835
関係会社からの配当金の消去	△117
その他の連結上の調整額	△310
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	13,168

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、重要性が低下したことに伴い、前連結会計年度まで報告セグメントとして記載していた「株式会社ダイフクプラスモア」を「その他」に含めております。これに伴いまして、報告セグメントを以下の通り変更しております。

(変更前)

株式会社ダイフク (ダイフク)
コンテックグループ (コンテック)
Daifuku North America Holding Companyグループ (DNAHC)
Clean Factomation, Inc. (CFI)
株式会社ダイフクプラスモア (ダイフクプラスモア)

(変更後)

株式会社ダイフク (ダイフク)
コンテックグループ (コンテック)
Daifuku North America Holding Companyグループ (DNAHC)
Clean Factomation, Inc. (CFI)

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しております。